



2022年度 **6月号**
 日本キリスト教団
名古屋新生教会 子どもの礼拝(CS)
 名古屋市西区天神山3-7 TEL.052-531-1820
 ホームページ: [名古屋新生教会](#) 検索

5月に夏日、そして6月…雨の季節がやってきますね。雨が多いと気分までジメジメしそうですが、心は晴れやかにいきましょう！清々しい心が何か良いことを招いてくれることでしょう！

今月の礼拝 単元22: 教会の誕生と宣教の始まり

月日	週 題	聖書箇所	ティーンズ礼拝 (小4～中学生以上) 9:00～9:30	分級 (小学生/中学生以上) 9:35～9:55	こどもれいはい (幼児～小3) 10:00～10:20
6月5日 ペンテコステ	聖霊がくだる	使徒言行録 2章	武岡 基	ペンテコステ行事 (担当: 武岡基)	武岡路実
6月12日 花の日・子どもの日	ペトロの宣教	使徒言行録 3:1-4:22	武岡路実	花の日・子どもの日行事 (担当: 安達いづみ)	安達いづみ
6月19日	ステファノ	使徒言行録 6章-7章	林 小夜子	プレイ・タイム	武岡 基
6月26日	フィリポの宣教	使徒言行録 8章	安達正樹牧師	プレイ・タイム	安達正樹牧師

ペンテコステ (聖霊降臨日) 6月5日

「ペンテコステ」とは「50」という意味です。イースターはイエスさまが復活された日。このイースターから40日目の木曜日が「昇天日」、イエスさまが天に昇られた日です。イースターから50日目の聖日が「ペンテコステ」、イエスさまが天に昇られた後、神さまからの聖霊が私たちに降された日です。この「ペンテコステ」の翌週の日曜日が「三位一体主日」で、「父」である神さま・「子」であるイエスさま・神さまからの「聖霊」、この3つが一体のものであると確信された日です。いずれもイエスさまの十字架から続いている暦です。



花の日・子どもの日 6月12日

教会の暦で、6月第2週の日曜日は「花の日」と「子どもの日」です。「花の日」として、教会を花で飾ったり、花を持って自分たちがお世話になっている方々を訪問したり、お見舞いに行ったりすることもあります。また「子どもの日」としては、子どもの健康や成長を祈る礼拝を守ったり、祝会を催したりします。

名古屋新生教会では礼拝堂にお花を飾って礼拝を守ります。



今月の聖句

散って行った人々は、福音を告げ知らせながら巡り歩いた。

(使徒言行録 8:4)

今月のさんびか♪

こどもさんびか 92 (たたえよ、このひ) 讃美歌21…337

今月の子どもの礼拝では、ペンテコステ(聖霊降臨日…左ページ参照)に始まる「教会の誕生」「宣教」について学びます。今月の聖句が示すように、宣教によって世界各地へ人から人へ「福音」が告げ知らせ、時代を超えて今の私たちに伝えられているのです。「福音」とは「喜ばしい、良い知らせ」「イエスさまの教え」です。福音を聞いた人々はイエスさま・神さまを賛美したことでしょう。「イエスさま・神さまを賛美する」を意味する「ハレルヤ」が今月の賛美歌92「たたえよ、このひ」では何度も歌われます。「ハレルヤ」とはヘブライ語由来の言葉で、「ハレル(ほめたたえよ)」「ヤ(ヤハウェ〈救い主〉の略)」です。

今月のさんびか「たたえよ、このひ」は、英語賛美歌の重要な作詞家チャールズ・ウェスレーさん(1707-88)の賛美歌の一つで、堂々とした賛美歌です。兄のジョンを助けてメソジスト運動に生涯を捧げたチャールズは、6500あまりの賛美歌を書き、質・量ともに英語賛美歌史上最も重要な作者の一人と考えられています。各種の詞形を自由に使いこなしたその作風は変化に富み、情熱的で、篤い信仰心がほとばしるような力強さがあります。このさんびか以外には『こどもさんびか』では、75「きけ、てんしのうた」(讃美歌21-262)も彼の代表的な作品です。また『讃美歌21』においては有名なものだけでも、13「みつかいととも」、88「心に愛を」、235「久しく待ちにし」、456「わが魂を愛するイエスよ」、475・476「あめなるよろこび」と、実に19曲もの賛美歌が彼の作詞によるものです。1739年に発表された原詞では10節にもわたっていますが、後世の作詞家によって改変されつつ受け継がれてきました。1852年に発表された詞において各節に「ハレルヤ」加えられて喜びの表現が大きくなり、この形が普及しました。それ以後も編集者によって手直しされたり、いろいろな節が組み合わされたりして歌われ、20世紀後半のイギリスの賛美歌集では20種類以上の形が収められています。

曲の形式はA-A-B-Aの構造を持つ典型的なウェールズの賛美歌曲で、概ねへ長調の主和音から成り立っている音楽です。その独特な力強さが歌詞と見事に合致しています。当初は作曲者は不明で記名がないまま出版され、その後には単に「ウェールズの賛美曲」という記載で広がりしました。しかし、1896年になって作曲者はロバート・ウィリアムズさん(1781-1821)であることが判明しました。彼は盲目のアマチュア音楽家で美声の持ち主であり、彼の書いた多くの賛美歌曲の手書きの譜は21世紀の今日まで伝えられています。

「たたえよ、このひ」は便宜上「イースター(復活)」や「昇天」の賛美歌として区分されていますが、これらの時期に限らず、いつでも歌える賛美歌です。「良い知らせ」が現代の私たちに伝えられ、聞いた私たちも心からイエスさま・神さまを「ハレルヤ!」と賛美しましょう。

おたんじょうびおめでとう🎂

6月生まれのお友だち

「子どもの礼拝(CS)」ってなあに？

幼児から小学生、中高生のみなさんへの礼拝や教会プログラムを、多くの教会では「教会学校」と称しています。これは欧米から伝わった「Church School (CS)」を訳した言葉です。名古屋新生教会では、教会は、普段通っている学校とは違う、みなさんにとって「自分の居場所・神さまとの出会いの場」であってほしい、それは小学校に入る前の保育園・幼稚園に通っている子どもたちにとっても同じであってほしい、との思いから、「子どもの礼拝」(Children's Service: CS)と呼んでいます。

礼拝では聖書(神さまの言葉)を子ども向けにわかりやすくお話しします。礼拝後の分級では学校とは違った自由な雰囲気の中で楽しい時間を過ごします。「ティーンズ礼拝」「こどもれいはい」それぞれ対象年齢を示していますが、どちらに出席されても構いません。普段は礼拝に出席していない人でも、行事だけ参加するのも大歓迎です。

名古屋新生教会は人数も少なく、家庭的であたたかい教会です。いつからでも、誰でも、大歓迎します。